

## 平成 27 年度第 3 回東京都細胞検査士会 役員会議事録

日 時： 平成 27 年 2 月 13 日（土） 11:00 ~ 13:00

場 所： 慶應義塾大学信濃町キャンパス東校舎講堂

出席者： 青木・浅見・阿部・池端・石井・和泉・石山・五十嵐・稻垣・稻葉・上野・梅澤・岡・片山・金室・河村・郡・小松・笹井・佐々木・渋木・庄野・鈴木・瀬田・田口・宅見・長尾・中島（弘一）・中島（研）・濱川・葉山・古田・藤田・藤山・町田・松原・三宅・向山・吉田・若槻

（あいうえお順）40名

当日欠席： 藤下

議事録：青木・庄野

役員会の成立： 会則に基づき 40 名の幹事・監事の出席により平成 27 年度第 3 回東京都細胞検査士会役員会は成立することが報告された。（庶務代表幹事 笹井）

庶務： 笹井氏により議事進行を行う

### 議 題

#### 〔報告事項〕

##### 会長報告

###### 日本臨床細胞学会の報告

###### 1) 学会予定

2016 年総会（横浜）5 月 27 日～29 日、会長：青木大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

5 月 28 日～6 月 1 日、同時連続で国際学会（ICC2016）開催

事前参加登録（4 月 15 日まで）、細胞検査士：30,000 円（通常登録：40,000 円）

1day ticket : 12,000 円（希望する 1 日だけ参加でき、1 枚のみ購入可能）

###### <細胞検査士参加単位について>

・ 学会に 1 日以上の参加 25 単位 × 2 (50 単位)

・ 学会に 2 日間以上の参加 25 単位 × 3 (75 単位)

・ 1day ticket で 1 日参加 25 単位

2016 年秋期大会（別府）11 月 18 日～19 日

2017 年総会（大阪）5 月 26 日～28 日

2017 年秋期大会（福岡）11 月 18 日～19 日（19 日午後 細胞検査士会創立 50 周年記念事業）

###### 2) 保険点数改変

社会保険委員会へ保険点数の要望として、セルブロック（860 点）と細胞診の免疫染色（400 点）をあげていたが、セルブロック（860 点）のみが答申された

###### 3) 日本臨床細胞学会賞予定

技師賞：松井成明氏（東海大学付属東京病院）功労賞：片山博徳氏（日本医科大学多摩永山病院）

###### 4) 細胞検査士の資格更新について

現行 4 年毎の更新を 5 年に変更（2018 年から実施の予定）

### 細胞検査士会の報告

###### 1) 正会員登録への啓発

日本臨床細胞学会の会員数は 12,103 名で、そのうち細胞検査士の会員は 7,264 名にあたり、正会員は 1,057 名である。今後、評議員を増やす為に、正会員になることを各都道府県で促してほしい。

###### 2) 細胞検査士セミナー・ワークショップのお知らせ

- ・第 71 回細胞検査士ワークショップ（福岡）：2016 年 3 月 21 日（土）・22 日（日）  
実施委員長 南部 雅美
- ・第 72 回細胞検査士ワークショップ（北海道）：2016 年 7 月 23 日（土）・24 日（日）  
実施委員長 田上 稔
- ・第 71 回細胞検査士教育セミナー（東京）：2016 年 8 月 27 日（土）・28 日（日）  
実施委員長 片山 博徳
- ・第 72 回細胞検査士教育セミナー（大阪）：2016 年 9 月 10 日（土）・11 日（日）  
実施委員長 矢羽田 一信
- ・第 125 回細胞検査士養成講習会（東京医学技術専門学校）：2016 年 7 月 4 日～16 日  
実施委員長 伊藤 仁

### 3) あり方委員会より

細胞検査士へ「細胞検査士に対する職場の理解や将来の細胞検査士像について」アンケート調査を実施し、HP 上で回答を予定している。

### 4) 細胞検査士会創立 50 周年記念事業のお知らせ

2017 年秋期大会（福岡）11 月 18 日～19 日

19 日午後細胞検査士会創立 50 周年記念事業（記念式典・功労賞授与・検査展・懇親会）を開催。

当日の最終便に間に合う日程なので、東京都からも多数の参加をお願いしたい。

## 東京都臨床細胞学会の報告

### 1) 会員数（2015 年 6 月現在）1,417 名

名誉会員 15 名、功労会員 15 名、専門医会員 404 名、医師会員 7 名、細胞検査士会員 976 名

### 2) NPO 法人化に伴う会則の変更について

理事会から、学会運営において医師と技師の立場を同等にするためにも、現在の会費（医師：4,000 円、技師：3,000 円）の 1,000 円差をなくし、同額の会費にしてはどうか、という会費見直しの意見が出されている。

### 3) 事務局の委託について

2016 年 1 月より事務局業務を㈱クバプロに委託しており、HP も変更されているので確認をしてほしい。今後の学会運営に関する問い合わせは下記へお願いします。

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-15 UEDA ビル 6 階 株式会社クバプロ内

Tel : 03-3238-1689 FAX:03-238-1837 E-mail : [jim@jssc-tokyo.com](mailto:jim@jssc-tokyo.com)

### 5) 第 35 回東京都臨床細胞学会・学術集会

2016 年 7 月 10 日（日）12:00～17:00 東京医科大学病院 6 階臨床講堂

学会長：石井 保吉（こころとからだの元気プラザ）

## 東京都細胞検査士会の報告

### 1) 第 47 回東京都細胞検査士会学術集会

2016 年 6 月 18 日（土） 慶應義塾大学信濃町キャンパス東校舎講堂

実施委員長：浅見 英一（都立駒込病院）

## 2. 平成 27 年度各委員会中間事業報告

### 1) 学術委員会：

・第 45 回・46 回東京都細胞検査士会学術研修会を開催

### 2) 広報委員会：

・HP 管理の充実

- ・「2015 LOVE49 キャンペーン」、学会・研修会の年間行事予定、幹事名簿、会長挨拶、総会・役員会の議事録、各種研修会情報、研修会アンケートに関する情報などを掲載した。
- ・子宫の日活動（2015年4月11日 41名参加、上野松坂屋・中野協定広場）
- ・がん患者大集会への協力：第11回がん患者大集会に9名参加
- ・広報幹事会を2回開催

3) 国際委員会：

- ・情報交換会（第56回春期細胞学会、第54回秋期細胞学会）
- ・第7回日・台・韓細胞診セミナーへの協力（2015年3月21日、於：福岡）
- ・第7回日・台・韓細胞検査士合同セミナー  
参加人数（115人）：日本73名（東京都細胞検査士会8名参加）、台湾18名、韓国24名
- ・3国代表者会議の開催（第7回日・台・韓細胞検査士合同セミナーにて）  
第8回日・台・韓細胞検査士合同セミナーは、第19回国際細胞学会（ICC2016）開催（平成28年）のため平成29年に開催する。開催時期として3月は年度末会計決算の関係上、平成29年2月開催予定である。
- ・第8回日・台・韓細胞診セミナーの会期は、3国の代表者でメールにて決定し、会の運営は基本的には会費により賄う。  
3国間の覚書については、MOUといった公式なものは作成せず、現行のスタイルを踏襲する。

4) 総務委員会：

- ・第1回総務委員会を開催（平成28年1月20日　於：元気プラザ）
- ・各委員会からの細則案の収集
- ・各委員会へのヒアリング
- ・東京都臨床細胞学会年会費について
- ・東京都細胞検査士会学術研修会参加費について

5) 庶務委員会：

- ・平成27年度役員会議事録作成（第1回・第2回）
- ・平成27年度総会議事録作成（第1回）
- ・庶務委員会内規案作成
- ・第1回・2回役員会、第1回総会の開催運営
- ・新幹事・監事への委嘱状の発行

**[審議事項]**

1. 平成28年度各委員会・事業計画案

1) 学術委員会：

- ・第47回学術研修会　テーマ（呼吸器）　　実施委員長　浅見英一  
開催日　：2016年6月18日（土）  
会　場　：慶應義塾大学信濃町キャンパス  
特別講演：「新WHO分類の開設」　　座長：浅見英一  
　　国立がん研究センター中央病院病理　元井紀子先生  
教育講演：「肺腺癌の細胞診と鑑別診断」　　座長：三宅真司  
　　北里大学医学部　　柿沼廣邦技師  
　　症例1 呼吸器　　東京病院　我妻美由紀　技師  
　　症例2 婦人科内膜　　武藏野日赤　宅見智晴　技師

症例 3 耳下腺

慶應義塾大学 中島清聖 技師

- ・第 48 回学術研修会 テーマ（細胞診を用いた遺伝子解析）

- ・細胞検査士会主催講習会等への協力

2) 広報委員会：

- ・ホームページの管理と内容の充実

- ・子宮の日の活動（4月 16 日を予定、松坂屋と中野駅前…使用の可否要確認）

- ・がん患者大集会への協力（東京都以外の千葉、神奈川、埼玉からの協力者あり）

- ・研修会のアンケート調査

3) 国際委員会：

- ・第 8 回日・台・韓細胞診セミナー（2017 年 2 月、台湾にて開催予定）への協力

- ・細胞学会国際事業への参画

情報交換他、第 57 回細胞学会（春期）、第 55 回細胞学会（秋期）

- ・第 19 回国際細胞学会会議(ICC2016)

- ・細胞検査士関連の国際交流に関する情報発信

4) 総務委員会：

- ・規約、運用規定の整備

- ・各委員会の業務分担の見直しと文章化（文章化したら公開する）

5) 庶務委員会：

- ・平成 28 年度役員会および平成 28 年度総会の議事録作成

- ・役員会、総会等の開催運営（委嘱状の発行など）

審議なし

各委員会の平成 28 年度事業計画案は承認された。

## 2. 平成 28 年度予算案

1) 本部

五十嵐会計代表幹事より本部予算案が提示された

- ・慶弔費を雑費の中に含めることが提案され承認された

2) 学術委員会

松原学術代表幹事より予算案が掲示された

- ・来年度は、研修会会場費の負担が増えることが予想される為、会議費に¥110,000 を計上した

3) 広報委員会

濫木広報代表幹事より予算案が提示された

- ・子宮の日活動費は、昨年度、資料の通信・運搬費がかさんだので 28 年度は多めに計上した

- ・ホームページビルダーのバージョンアップの為、更新費を計上した

4) 国際委員会

片山国際代表幹事により予算案が掲示された

- ・日台韓セミナープログラム集作製費、情報交換会費用を計上した

5) 総務委員会

小松総務代表幹事により予算案が掲示された

- ・事務消耗品と交通費を計上した

6) 庶務委員会

笛井庶務代表幹事により予算案が提示された

- 各委員会資料・議事録等を管理・保存する為に外付ハードディスク購入費を計上した

#### 7) 東京都細胞検査士会（全体）

五十嵐代表幹事より全体の予算案が提示された

- 前年度より 150,850 円増加の予算となった

#### 東京都細胞検査士会 平成28年度(2016年) 予算案

##### 収入の部

科 目	取 入	内 容
研修会参加費	370,000	研修会参加費 第47回 190人、第48回 180人、両回とも参加費1,000円で計上
東京都臨床細胞学会助成金	250,000	
前年度繰越金(土産基金含)	3,396,566	(予定)平成27年度未決算
利息	1,000	
合計	4,017,566	

##### 支出の部

科 目	通信運搬費	旅費交通費	消耗品費	消耗什器備品費	会議費	講習会料	支払い負担金	総務費	諸経費	28年度予算額	27年度予算額	増 減
本部経費		41,000			82,000		10,000			133,000	101,200	31,800
学術委員会	10,000	70,000	10,000		110,000	160,000		5,000	5,000	370,000	320,000	50,000
国際委員会			15,000	1,500	24,000			30,000		70,500	92,500	-22,000
広報委員会	40,000	34,000			60,000			59,150		193,150	125,100	68,050
総務委員会		24,000	3,000							27,000	24,000	3,000
庶務委員会	5,000	22,000	3,000	20,000		-				50,000	30,000	20,000
東京都学術集会積立金							100,000			100,000	100,000	-
合計	55,000	191,000	31,000	21,500	276,000	160,000		104,150	5,000	943,650	792,800	150,850

予算案	
収入合計	4,017,566
支出合計	943,650
総合計(次年度繰越金)	3,073,916

東京都学術集会積立金30万円含む

平成 28 年度各委員会の予算案は承認された

#### 3. 東京都臨床細胞学会技師年会費について

NPO 法人化に伴う会則の変更が検討されている。理事会で、学会運営において医師と技師の立場を同等にするためにも、現在の会費（医師：4,000 円、技師：3,000 円）の 1,000 円差をなくし、同額の会費にしてはどうか、という会費見直しの意見が出されている。

- 東京都細胞検査士会研修会の会場を確保するにも多額な費用がかかる。増額分の一部を細胞検査士会助成金を増額してもらい研修会の会場費用に使えないか
- 助成金で会場費用を支出できれば研修会参加費を据え置くこともできる。
- 技師年会費値上げについて、HP をを利用して会員からパブリックコメントを募集し、会員からの意見を聞くことも必要である。
- 役員会では技師年会費の値上げは賛成多数（挙手）であった。

東京都臨床細胞学会の年会費については HP をを利用して会員からパブリックコメントを募集することになり継続審議となった。

#### 4. 東京都細胞検査士学術研修参加費について

- 細胞検査士会の予算案では収入より支出の計上が多いのが現状である。
  - 研修参加費は 1,000 円であり、参加人数により収入に差も出るので安定した収入とは言い難い。
  - 今後、研修会会場を確保するには経費がかさむので、受益者負担の原則からみても値上げも考慮しなければならない。
  - 東京都臨床細胞学会の技師年会費値上げによる助成金の増額があれば会場費用に充当する事が期待出来る。
- 東京都臨床細胞学会の技師年会費の値上げの絡みもあり現状で様子をみることが提案され、承認された。

5. 東京都臨床細胞学会会長積立金について

- ・毎年、100,000円の積み立てをしており、現在、30,0000円の積み立てがある。
- ・細胞検査士が会長になった際(おそらく隔年)に予備費として20,0000円振り込むとなっている。
- ・細則がないため今後はどうするか審議願いたい  
種々な意見があったが、今年度の収支をみて再考することで承認された。

6. 第46回東京都細胞検査士会学術研修会役割分担について

- ・東京都細胞検査士会副会長 阿部仁氏より、本日の研修会の役割分担の説明があった
- ・次回（第47回）研修会場も慶應義塾大学信濃町キャンパス東校舎講堂で行うとの説明があった